令和６年度　ひたちなか市立勝田第三中学校　グランドデザイン

本県教育の目標
- ひとりひとりの能力を開発し豊かな人間性をつちかう
- じょうぶな身体をつくりたくましい心を養う
- 郷土を愛し協力しあう心を育てる

校　訓
至誠　勤勉　協和

本校の教育目標
豊かな心をもち、たくましく生きる生徒の育成

ひたちなか市の教育目標
夢・感動・笑顔が広がる教育のまち　ひたちなか
- ひとりひとりの能力を開発し豊かな人間性をつちかいます
- じょうぶな身体をつくり、たくましい心を養います
- 家庭や地域と力をあわせ、豊かな心を育みます
- ふるさとを愛し、協力しあう心を育てます
- 世界に視野を広げ、国際人としての自覚を高めます

いばらき教育プラン
一人一人が輝く教育立県を目指して

目指す生徒の姿
- ○自ら考え進んで取り組む生徒
- ○誠意をもち思いやりのある生徒
- ○何事も力いっぱい躍動する生徒

目指す学校の姿
- ○生徒にとって夢と感動のある学校
- ○教職員が協働し誇りに思える学校
- ○保護者・地域とともに歩み信頼される学校

目指す教職員の姿
- ○情熱のある教職員
- ○団結力のある教職員
- ○学び続ける教職員
- ○生徒、保護者、地域から信頼される教職員

本年度の学校組織目標
魅力ある学校づくりの推進（探究的な学びを通した学力向上）

学校経営の重点目標
1　確かな学力の定着　　2　豊かな人間性の育成　　3　たくましい体や心の育成
4　地域に誇れる学校づくり　　5　特別支援教育の充実　　6　教職員の資質向上
7　安全・安心な学校づくり

○変化の激しい社会を生き抜く生徒の育成（「自律・尊重・創造」がキー）
○地域の教育力を生かした教育活動の展開

各教科・領域

校内研修テーマ　「探究的な学びを通した学力向上」
～相互的なアウトプットを重視した授業づくりを通して～

「よくわかる・できる・もっと学びたくなる授業」の追求
- 学習規律（非認知スキル），学習スキル
- 各自で問いの設定，自力解決，協働での解決
- 学びの個別最適化（自由進度学習の試行）
- 対話（相互作用）を基本とした授業スタイル
- ＧＩＧＡ端末やクラウドを含むＩＣＴの効果的な利活用

健康・体力向上

体力の向上と食育の推進、命を大切さの理解
- 基本的生活習慣の確立
- 主体的な運動による体力の向上
- 「命を大切にする」安全能力の育成
- 食育の推進と望ましい食習慣の形成

教職員の資質向上

授業力、指導力、情熱のある教師集団のを育成
- ワークエンゲージメント、風通しのよい職員室
- 校内研修の充実（相互授業参観の実施）
- ＯＪＴやメンター制を生かした人財育成
- ボトムアップミニ研修の奨励（特別支援教育，ＩＣＴ、コンプライアンス、教育相談等）
- 部活動運営体制の抜本的改善

- 授業に主体的に取り組んでいる
  …3年 60%以上、2年 50%以上、1年 50%以上
- 授業の学習内容がよくわかる
  …3年 50%以上、2年 40%以上、1年 40%以上
- 時間外在校等時間 45 時間の遵守

学年・学級経営・特別活動

相手を大切にする心、思いやる心の育成
- 生徒の強みの伸長（学年、学級、特別活動など）
- 生徒自らが考える月生活目標の設定
- 挨拶、給食、清掃指導（黙働）、読書活動の徹底
- 生徒と向かい合う時間の確保（面談、やりとり帳等）
- 「魅力ある学校づくり」の推進
- 生徒会活動、学校・学年行事や部活動、ボランティア活動を通して育成する生徒の主体性・自律性（生徒の自己有用感・効力感を高める。）
- Q-U を生かした人間関係づくり、SGE の継続
- 人権教育の充実、ＳＤＧｓを基盤とする教育

生徒支援・特別支援教育

一人一人の教育的ニーズに応じた生徒支援・特別支援教育の展開
- 安心安全な風土の醸成，自己存在感の感受、共感的な人間関係の育成，自己決定の場の提供
- アセスメントを基にした生徒支援、特別支援教育
- 問題行動の未然防止と早期解消に向けた支援（保護者と連携したチーム援助等三段階の校内支援体制）
- いじめの早期発見と早期解決，いじめアンケートの実施（毎月）と組織での判断
- ネット、携帯スマホ、ＳＮＳ等トラブルの未然防止
- 学校と家庭、地域社会、関係諸機関との情報連携の推進とネットワーク型援助の徹底
- ＳＳＷ、ＳＣ、介助員、いちょう広場等行政機関との連携、細やかな声掛けと気付き、速やかな情報共有

- 学校が楽しい
  …3年 60%以上、2年 70%以上、1年 70%以上
- みんなで何かをするのは楽しい
  …3年 75%以上、2年 85%以上、1年 85%以上
- 不登校（30 日以上）出現人数
  …3年 8 人以下、2年 6 人以下、1年 1 人以下

地域とともにある学校づくり
①コミュニティ・スクールを生かした教育活動
②「教育ボランティア」等、外部人材の活用
③各種たより、ホームページ等での積極的な情報発信
④学校評価の充実と活用

信頼される学校づくり
○迅速かつ適切な初期対応と組織力の強化（報・連・相・確・記）
○説明責任を果たす対応（誠実さ、言葉遣い）
○コンプライアンスの推進と研修の充実、風通しのよい職員室
○「ワークエンゲージメント」の実践